

池田市北部の蛾

ヤガ科アツバ亜科・クルマアツバ亜科

木下 修一

前回に引き続いて、池田市北部のマンションに集まる蛾を毎朝観察した結果を報告する。今回はヤガ科の仲間であツバ亜科、クルマアツバ亜科に分類される小さい蛾を特集する。これらの仲間はいずれも顔の前に長い下唇鬚を有しているのが特徴である。これらの亜科にはアオアツバとトビモンアツバという私のマンションでの観察種の中でも個体数の上位10位以内に入る蛾が2種も入っているの、なんとなく注目することになってしまった。

アオアツバは講談社の「日本産蛾類大図鑑」には個体数が少ない旨書かれているが、池田市北部では特に個体数が多い。アオアツバは8月から10月にかけて毎年かなり規則正しく発生しているが、この様子は個体数の等高線表示をした図1をみるとよくわかる。大体発生ピークは9月ごろであるが、年によってそのピークは1ヶ月ほどシフトすることもあり、特に発生中心が近年次第に早くなっているのは注目される。

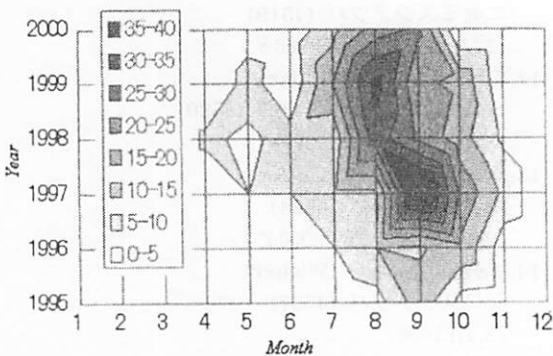


図1 1995年～1999年に池田市北部で観察されたアオアツバの月別個体数の等高線表示

ヤマトアツバは1987年に記載されたものであるが、京都、大阪で記録があるという珍種である。最近、高島により兵庫県川西市黒川で採集された旨が報告され[1]、兵庫県初記録となった。筆者は1995年と1999年の2回にわたり池田市北部のマンションの廊下で採集する機会を得た。

表1にはいつものように月別、年別の発生個体数を示した。個体数については視認によるものなので

必ずしも正確でないことをご承知願いたい。また、この中で、オオアカマエアツバの欄が空欄になっているのは、次種のニセアカマエアツバと視認によっては区別がつかないため、次種とあわせて個体数を表した。

採集目録を次に示すが、「写真」と記したものは、標本はなく写真のみの記録によるものを示す。

採集目録

Hypeninae アツバ亜科

1. *Latirostrum bisacutum* Hampson
テングアツバ (4448)
(26.III.1995;写真)
2. *Harita belinda* (Butler)
ナカジロアツバ (4450)
(28.IV.1996, 12.V.1996, 16.IV.1997)
3. *Hypena claripennis* (Butler)
キシタアツバ (4452)
(21.X.1997)
4. *Hypena amica* (Butler)
クロキシタアツバ (4453)
(8.VI.1996, 7.IX.1996, 10.IX.1996, 29.IX.1996, 2.XI.1996, 18.V.1997)
5. *Hypena trigonalis* (Guenee)
台湾キシタアツバ (4454)
(18.V.1996, 16.V.1997)
6. *Hypena ella* Butler
ソトムラサキアツバ (4455)
(5.IX.1998 ♀, 6.IX.1998 ♀)
7. *Hypena strigatus* (Fabricius)
ナミテンアツバ (4461)
(1.V.1996 ♀, 6.IX.1996, 7.V.1997, 8.IV.1998 ♀, 12.VIII.1998 ♂, 26.X.1998 ♀, 28.VIII.1999 ♀, 25.XI.1999 ♂, 11.VI.2000 ♂)
8. *Hypena occata* Moore
オオトビモンアツバ (4465)
(21.X.1996, 23.X.1996, 15.XI.1996, 22.XI.1996, 5.XII.1996, 5.XI.1998 ♂)

9. *Hypena innocuoides* Poole
 ウスチャモンアツバ (4466)
 (11.XI.1997, 1.XI.1998 ♀, 1.IX.2000 ♂)
10. *Hypena indicatalis* Walker
 トビモンアツバ (4467)
 (11.VII.1999 ♀, 11.XI.1999 ♀ など)
11. *Hypena subcyanea* Butler
 アオアツバ (4470)
 (18.V.1996, 21.V.1996, 29.IX.1996, 5.V.1998 ♂, 30.VIII.2000 ♀ など)
12. *Hypena pulverulenta* Wileman
 コテングアツバ (4476)
 (21.IX.1995;写真, 15.XI.1995;写真)
13. *Hypena abducalis* Walker
 サザナミアツバ (4477)
 (29.III.1998 ♀)
14. *Hypena kengkalis* Bremer
 ソトウスナミガタアツバ (4478)
 (13.XI.1995;写真)
15. *Bomolocha stygiana* (Butler)
 ヤマガタアツバ (4481)
 (3.VII.1997, 7.VIII.1997, 10.IX.1997, 22.IV.1998 ♀, 9.V.1998 ♀)
16. *Bomolocha squalida* (Butler)
 ハングロアツバ (4483)
 (7.IX.1996, 4.X.1997, 5.VI.1999 ♀, 13.VI.2000 ♀, 29.VII.2000 ♂)
17. *Bomolocha zilla* (Butler)
 シラクモアツバ (4486)
 (4.VI.1996, 1.V.1997, 14.VII.1997, 30.VII.1997, 9.V.1998 ♀, 5.VII.1998 ♀, 20.V.1999 ♀)
- Herminiinae クルマアツバ亜科
1. *Adrapta simplex* (Butler)
 シラナミクロアツバ (4496)
 (27.VI.1996, 11.VIII.1997, 24.VI.2000 ♂)
2. *Adrapta notigera* (Butler)
 フジロアツバ (4497)
 (11.VI.1996, 2.IX.1996, 3.VI.1997)
3. *Hydrillodes lentalis* Guenee
 ソトウスグロアツバ (4499)
 (27.X.1996, 12.XI.1996, 17.V.1997, 5.X.1997, 16.XI.1997 など)
4. *Hydrillodes morosa* (Butler)
- ヒロオビウスグロアツバ (4500)
 (12.V.1996 ♀)
5. *Edessena hamada* (Felder & Rogenhofer)
 オオシラホシアツバ (4503)
 (22.VI.1997)
6. *Hadennia nakatanii* Owada
 ヒメハナマガリアツバ (4506)
 (2.VII.1996 ♀, 16.IX.1996, 19.VI.1997 ♀, 7.IX.1997, 26.V.1998 ♂, 7.VI.2000 ♂)
7. *Mosopia sordida* (Butler)
 フサキバアツバ (4507)
 (30.VII.1997 ♂, 28.VII.2000 ♂)
8. *Cidariplura gladiata* Butler
 ハナオイアツバ (4508)
 (28.VIII.1997 ♂, 18.VIII.1998 ♂, 8.IX.1999 ♂)
9. *Paracolax japonica* Owada
 ヤマトアツバ
 (19.VI.1995, 16.VI.1999 ♂)
10. *Paracolax trilinealis* (Bremer)
 ミスジアツバ (4518)
 (3.IX.1996, 11.IX.1996, 22.V.1997, 14.VI.1999 ♂, 3.VI.2000 ♀)
11. *Paracolax bilineata* (Wileman)
 ニセミスジアツバ (4519)
 (27.V.1996 ♀, 2.VI.1996 ♀)
12. *Paracolax pryeri* (Butler)
 シロテンムラサキアツバ (4520)
 (8.V.1998 ♂, 26.V.1999 ♂)
13. *Paracolax fentoni* (Butler)
 ホソナミアツバ (4524)
 (28.VI.1996, 17.VI.2000 ♂)
14. *Bertula spacoalis* (Walker)
 シロスジアツバ (4527)
 (3.VII.1996)
15. *Nodaria tristis* (Butler)
 ヒゲブトクロアツバ (4529)
 (13.V.1996 ♀, 9.VII.1996 ♂, 8.IX.1996 ♀, 26.IX.1996 ♀, 5.X.1996 ♀, 10.X.1996 ♀, 27.IX.1997 ♂, 26.IV.1998 ♀)
16. *Simplicia nippona* (Butler)
 オオアカマエアツバ (4532)
 (10.VI.1996, 16.VI.1996, 31.VIII.1996, 17.IX.1996, 11.X.1996, 16.X.1996, 5.XII.1996, 31.V.1997, 10.V.1998 ♂)
17. *Simplicia xanthoma* Prout
 ニセアカマエアツバ (4533)

表1 1995年～1999年に池田市北部で観察されたアツバ亜科とクルマアツバ亜科の蛾の月別、年別個体数

アツバ亜科

	MONTH	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	SUM	1995	1996	1997	1998	1999
1	テングアツバ			1										1	1				
2	ナカジロアツバ				9	1								10	1	3		2	
3	キシダアツバ						1				1			2	1		1		
4	クロキシダアツバ				1	3	1	1	1	9	1	1		18	4	5	6	3	
5	タイウンキシダアツバ					7	1	3	2	6	5			24	4	5	12	3	
6	ソトムラサキアツバ									2	2			2				2	
7	ナミデシアツバ				1	3		1	2	2	1	1		11		3	1	5	2
8	オオトビモンアツバ	1			2	1			2	4	6	18	2	36	10	8	10	6	2
9	ウスチャモンアツバ								1	1		4		6	2	1	1	1	1
10	トビモンアツバ			15	41	8	5	7	15	18	26	53	4	192	31	31	67	39	24
11	アオアツバ				6	21	16	39	81	100	63	18		344	27	44	96	88	86
12	コテングアツバ									1		1		2	2				
13	サザナミアツバ			1										1				1	
14	ソトウスナミガタアツバ											1		1	1				
15	ヤマガタアツバ				1	2		1	1	3				8	3		3	2	
16	ハングロアツバ					1	1	1	1	1				4		1	1	1	1
17	シラクモアツバ				9	1	3	1	1	1				15	1	1	6	6	1
	SUM	1	0	17	61	55	26	56	106	148	104	97	6	677	88	102	207	159	117

クルマアツバ亜科

	MONTH	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	SUM	1995	1996	1997	1998	1999
1	シラナミクロアツバ					1		1						2		1	1		
2	フジロアツバ					2		1	2					5		2	1	1	1
3	ソトウスグロアツバ				41	9	1	1	3	55	19	1		130	35	36	33	13	13
4	ヒロオビウスグロアツバ				3						1			4	1	3			
5	オオシラホシアツバ				1	1	1	4						7	1		4	1	1
6	ヒメハナマガリアツバ				1	6	2	1	5					15	3	2	3	4	3
7	フサキバアツバ						1	1						2	1		1		
8	ハナオイアツバ							7	1	1				9	1		4	1	1
9	ヤマトアツバ					2								2	1				1
10	ミスジアツバ					9	6		4	3				22	9	3	3	4	3
11	ニセミスジアツバ					1	2		3					6		3	3		
12	シロデシムラサキアツバ				3	2			1					6	2	2		1	1
13	ホソナミアツバ					1		1						2	1	1			
14	シロスジアツバ							1		1				2	1	1			
15	ヒゲブトクロアツバ				6	8		3		5	4	3		29	6	10	7	3	3
16	オオアカマエアツバ	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
17	ニセアカマエアツバ				9	12	5	9	4	7	8	2		56	14	16	13	7	6
18	ツマオビアツバ					3	1	1	3					8	3	1	4		
19	ホソコブヒゲアツバ					2								2				1	1
20	ウスグロアツバ				3	1								4	3	1			
21	キイロアツバ				2	1		3						6	1		2	2	1
22	ウラジロアツバ						1							1	1				
23	シラナミアツバ					1	1							2	2				
24	ウスキミスジアツバ				3		6	2	1					12	1	4	2	2	3
25	トビスジアツバ				15	2	2		2					21	2	1	10	4	4
26	オオシラナミアツバ				1			3	2	12	2			20	2	7	8	3	
27	ムモンキイロアツバ				1			1						2			2		
28	ネグロアツバ				1		1							2				2	
	SUM	0	0	0	6	102	54	26	43	33	80	32	3	379	91	94	101	49	42

(3.VI.1996, 5.VI.1996, 15.IX.1996, 10.V.1997, 9.VIII.1997)

18. *Zanclognatha griselda* (Butler)
ツマオビアツバ (4538)
(26.VI.1996♂, 30.VI.1997♀, 16.VII.1997♀)
19. *Zanclognatha curvilinea* (Wileman & South)
ホンドコブヒゲアツバ (4541)
(7.VI.1998♂, 4.VI.1999♀)
20. *Zanclognatha fumosa* (Butler)
ウスグロアツバ (4544)
(11.VI.1996♀)
21. *Zanclognatha helva* (Butler)
キイロアツバ (4546)
(5.VI.1997, 22.VIII.1997, 22.XIII.1997, 18.V.1998♂, 25.V.1998♀, 11.VIII.1999♂)
22. *Zanclognatha violacealis* Staudinger
ウラジロアツバ (4551)
(20.VII.2000♀)
23. *Herminia innocens* Butler
シラミアツバ (4558)
(25.V.2000♂, 12.IX.2000♂)
24. *Herminia arenosa* Butler
ウスキミスジアツバ (4560)
(30.V.1996, 15.VII.1996, 19.VII.1996, 31.VIII.1996, 16.V.1997, 26.V.1997, 15.VIII.1998♀, 17.IX.1998♀, 17.VII.1999♀, 23.V.2000♀)
25. *Herminia tarsicrinalis* (Knoch)
トビスジアツバ (4562)
(1.VI.1996, 13.V.1997, 15.V.1997, 12.VII.1997, 15.VII.1997, 19.IX.1997, 3.V.1998♀, 5.V.1998♂, 7.V.1998♀)
26. *Hipoepa fractalis* (Guenee)
オオシラミアツバ (4563)
(29.IX.1996, 6.X.1996, 9.X.1996, 19.X.1996, 10.XI.1996, 31.V.1997, 16.XI.1997, 16.XI.1997)
27. *Stenhypena nigripuncta* (Wileman)
ムモンキイロアツバ (4564)
(3.V.1997♀, 26.VIII.1997♂)
28. *Sinarella punctalis* (Herz)
ネグロアツバ (4567)
(25.V.1998♂, 28.VII.1998♂, 12.VII.2000♂)

<参考文献>

- 1) 高島昭(1998) ヤマトアツバを兵庫県で採集, 誘蛾燈(151), p.1.
(KINOSHITA SHUICHI 池田市伏尾台5-1-5-901)

庭の昆虫雑文(2)

森口 紀

西表島のメスアカムラサキを産卵させ、家の中で飼育、羽化した蝶を庭のゲージ(きべりはむし第26巻第1号で紹介)に放したところ、まもなく交尾し、数日後ゲージ内に並べている鉢植えのスベリヒユに蝶が産卵しているのが確認された。

若齢幼虫をそのままにして観察していたところ、隣のオオバコに鉢植えに幼虫が数匹移動していた。その後、オオバコに食痕が確認され、幼虫がオオバコを食している可能性が生じてきた。そのことを確認するため、幼虫が移動しているオオバコの鉢植えをゴースで覆い、家に持ち込んで観察を続けた。

それらの幼虫は順調に生長し、スベリヒユで飼育した場合と同じか、それよりもやや大きいぐらいの終齢幼虫へと順調に成長した。

不勉強な私は、メスアカムラサキがオオバコを食することを知らなかったので大変興味深く観察していたが、同じ職場の近藤伸一さんのお宅におじゃましたとき、図書にオオバコも食することが載っていることを教えられ納得したものである。

ゲージ内に放蝶し不思議に思っていたことがある。それは、1日、2日と経つうちに蝶の数が激減してしまうことで、長らくその原因がわからなかったが、羽だけが落ちていることもあり、まったく跡形もなく姿を消していることもあった。その犯人がトカゲなのかヤモリなのか、その他の天敵なのか長らく不思議に思っていた。しかし、最近その原因の一部が明らかになった。注意深く観察していると、ある日、カマキリが蝶を捕獲しているのが観察され、同日1cmに満たない白い蜘蛛が蝶を捕らえているのを見つけた。羽を広げたまま動かない蝶の様子がおかしいので手にとってみると、小さな蜘蛛が蝶にしがみついていた。その蝶をルーペで詳しく観察したが目立った外傷はなく、それにもかかわらずじっとして動かない蝶の姿はむしろ不思議でさえあった。多分、蜘蛛の麻酔で仮死状態にされていたのではないかと思うが、蜘蛛の生態についても、もっと調べてみたいと結論は出せない。そのほか考えられる原因としては、照明に集まるヤモリ、蜂等が考えられるが今後観察を続けたい。

(MORIGUCHI TADASHI

神戸市西区伊川谷町有瀬77-1)